

## 地域の方々と一緒に取り組み、思いやりの心を育てる

山古志小中学校の子どもたちは地域の方々と  
の交流や活動を通して思いやりの心を育ん  
でいます。

### ＜なごみ苑交流訪問、配食サービス＞

子どもたちは、「お年寄りの方々に喜んで  
もらいたい」という思いをもち、普段、職員  
の皆さんがされているベッドメーキングやゲー  
ム支援、歓談などの仕事を体験しました。

子どもたちは相手の気持ちになって会話し  
たり行動補助をしたりする難しさを感じてい  
ましたが、お年寄りの方々からは、たくさん  
の喜びの言葉をいただくことができました。

配食サービスのお手伝いに行ったときには、  
心を込めて弁当を盛り付けたり、渡したりし  
ました。受け取った方々のうれしそうな表情  
を見て、子どもたちも笑顔がいっぱいになり  
ました。

### ＜錦鯉の飼育＞

学校では山古志の宝の一つである錦鯉を飼  
育しています。これまで飼っていた錦鯉は大  
きくなったため、今年、小さいサイズのもの  
と入れ替えました。子どもたちは、その錦鯉  
の一匹一匹に名前を付け、毎日観察し、世話  
をしています。このように、愛情を込めて錦  
鯉を飼育することを通して、生物を愛護する  
心を育てています。



「なごみ苑交流訪問」の様子

## みんなの心をつなぐ「あったかハート便」

小国小学校では、年間を通して「あったか  
ハート便」活動を行っています。「あったかハ  
ート便」とは、友達の素敵な所を見つけてカー  
ドに書きポストに届ける活動です。児童会活  
動の一環として、「あったかい気持ちを相手  
に届けたい」という想いで運営委員会が中心  
となって進めています。

始めた当初はなかなかカードが集まりませ  
んでしたが、委員会で話し合い、カードの色  
を増やしたり限定イラストのカードを出した  
りして工夫をしました。すると積極的に参加  
してくれる人が増え、今では、たくさんの温  
かいメッセージが届くようになりました。

集まったカードは、毎週金曜日の昼の放送  
で紹介し、本人へ届けています。カードをも  
らった人から直接もらったときの気持ちを伝  
える活動もはじめました。そこでは、「とて  
も嬉しくて、もっと頑張ろうという気持ちに

## 長岡市立小国小学校

なつた。」自分も誰かの良いところを見つ  
けようと思った。」という嬉しい言葉が伝え  
られました。また、行事の際には、保護者から  
も「あったかハート便」を募っています。活  
動がより活発になるように子ども達と教え、  
工夫を重ねています。



ハート便をもらった感想を伝え合う子どもたち

## 「ふだんの ぐらしの しあわせ」を広げよう

和島小中学校の4年生は、総合的な学習の時  
間に「福祉」を学んでいます。社会福祉協  
会の方から、福祉とは「ふだんの ぐらしの  
しあわせ」の略だと教わり、様々な体験を通  
して、「今の自分たちにできること」を考え  
ることから学習をスタートしました。

6月には、高齢者疑似体験を行いました。  
実際に装具を付けて不自由さを体感し、「段  
差があるよ」と相手に寄り添うさりげない声  
掛けの大切さを学びました。認知症サポーター  
養成講座では、見守ることや優しく寄り添  
う具体的な支援を学び、サポーターの証である  
オレンジリングを手に入れました。

また、地域密着型複合施設わしまさんへ運  
動会のポスターや感謝のカードを届けに行き  
ました。入居者の方が涙を流して喜ぶ姿を見  
て、自分たちの行動が誰かの笑顔をつくる力  
になることを肌で実感しました。他にも施設

の花壇に花植えをしたことも、絆を深める大  
切な思い出の一つとなりました。

今後は、体験で感じた思いを形にする学習  
を進めます。「ふだんの ぐらしの しあわせ」  
を実現するために、自分たちにできることを  
実行していき、たくさんの人たちの笑顔をつ  
くりたいと思っています。自分たちの優しさ  
で和島地域を元気にします。



高齢者疑似体験では、相手の不安に寄り添い、優しく声をかけながらサポートしました

## 長岡市立山古志小学校

### ＜ひまわりプロジェクト＞

22年前の中越大地震の際、阪神淡路大震  
災で被災した神戸から、ひまわりの種が送ら  
れてきました。当時、山古志の人たちは、そ  
のひまわりからたくさんの元気と勇気をいた  
だいたそうです。それ以降、ひまわり栽培を  
継続し、山古志地域や県外の被災地へ種を届  
けるなど活動の輪を広げてきました。

今年度は、地域の方々から全面的な協力を  
得て山古志の「薬師の陵」の広大な畑でひま  
わりを育てることになりました。たくさん  
の人たちに「薬師の陵」へ訪れてほしいとい  
願いから広報ポスターを制作し、長岡市の全  
小中学校、特別支援学校等へ配付しました。

### ＜かぐらなんばんプロジェクト＞

山古志の伝統野菜かぐらなんばんを後世ま  
で繋げていきたいという地域の思いを受け継

## 長岡市立山古志中学校

ぎ、子どもたちは、地域の方々の指導を受け  
ながら栽培、選別、袋詰め等の作業をしてい  
ます。そして、かぐらなんばんの魅力を多く  
の人たちに知ってもらいたいと、様々な活動  
を企画し実行しています。11月3日（火）  
に山古志闘牛場で直接販売する予定です。こ  
のように、様々な人たちと一緒に行動してい  
く中で、思いやりの心を育成しています。



「かぐらなんばん選別」の様子

## 地域貢献活動：おぐにカンパニーの活動

小国中学校では中越地震をきっかけとして、  
平成17年度より地域貢献活動を始め、平成  
21年度からは「おぐにカンパニー」と称し  
て会社経営に見立てて活動を行っています。  
今年度のおぐにカンパニーの企業理念とし  
て、「小国地域をもっと魅力溢れる地域にす  
ることを目指す」活動を行っています。

その中の一、「おぐにブランディングコー  
ス」では、地域の夏まつり実行委員長からの  
「中学生から夏祭りのイベントのアイディア  
を考えてほしい」という依頼に応えるため、  
イベント提案のプレゼン作りから始めました。  
話し合いや試行錯誤を重ね、まつり当日は竹  
筒水鉄砲の的当てとフォトスポットを設置、  
運営してイベントを盛り上げました。

他にも小国の名水を使った長岡の郷土料理  
を作ることに挑戦しているアグリフードコー  
スや、地域の依頼や要望に応え、満足しても

## 長岡市立小国中学校

らうように工夫しながら活動する地域応援隊  
コースが活動しています。

ここまでの活動を通して、「自分から行動  
する」という意思をもちながら活動すること  
ができています。これからも地域の皆様と交  
流しながら、地域の一員として小国地域を盛  
り上げていきます。



夏祭りにて竹筒水鉄砲で楽しんでいる様子

## 花でつながる地域の輪

本校では、福祉教育の一環として、花を通  
じた地域との交流活動に取り組んでいます。  
生徒たちは、プランターへの花の植え替え作  
業を行い、その後も花を元気に育てるため、  
日々の水やりや花摘みなどの管理を続けまし  
た。

花がきれいに咲くと、育てたプランターを  
お寺や道の駅に届けました。自分たちが大切  
に育てた花を地域の方々に届けることで、喜  
んでもらえる嬉しさや、人のために行動する  
ことの大切さを感じることができました。また、  
花を届ける活動を通して、地域の方々と  
のつながりを深める機会にもなっています。

さらに、3年生は小学生や保育園児と一緒  
に道路の花壇への花植えを行いました。年齢  
の異なる子どもたちと声を掛け合い、協力し  
ながら作業することで、相手の思いやる気持  
ちや、協力することの大切さを学んでいます。

## 長岡市立北辰中学校

これらの活動を通して、生徒たちは花を育  
てる喜びだけでなく、誰かのために行動する  
ことの意義や、地域の人と関わることの大切  
さを実感しています。今後も、地域とのつな  
がりを大切にしながら、思いやりの心を育て  
る福祉教育を続けていきます。



3年生が小学生と保育園児と花植えをしました